

あかがし

本山寺山^{もり}森林づくりの会会報 (第6号)



保全木 2022.6 M3通路にて撮影

本山寺山森林づくりの会 2021～2022 年度活動状況

2021 年度は前年度に引き続きコロナ禍の下での制約のある活動となり、5 月と 9 月は活動中止となった。22 年度は、活動中止はなかったが感染防止に努め、感染した場合にはもちろん、濃厚接触者になった場合や発熱があるなど体調不良者は参加辞退することとして、注意深く活動した。休憩時や昼食時の会話が活動での楽しみの一つだが、残念ながら控えめに過ごした。

本山寺参詣者駐車場の有料化（神峰山寺や府民の森駐車場と同時）に伴い、住職の計らいにより 4 台は駐車できる境内近くの新駐車場の使用許可がいただけるようになった。駐車場所からの移動時間もほとんどなくなり、活動時間にゆとりができるようになった。

2022 年度は創立 10 周年を迎えることができ、記念誌を発行した。また、必要個所に標識を設置した。森林・山村多面的機能発揮対策事業 3 期目の最終年度も採択され、3 年かけて 7ha で保全整備した。具体的な活動内容としては、「4 5 班に一〇三」において過年度の台風による倒木処理を中心に実施したが、常緑広葉樹の除伐で、明るい広葉樹の森にすることができた。また、「4 4 班ろ」の桧の人工林も倒木を整理・棚積みし、森床整備して、見違えるほど美しい森にすることができた。

体験作業に参加希望する方も増え、地元高槻市住民の入会者も増えてきたことは大変うれしいことであった。

2023 年 7 月に大変お世話になってきた顧問の百済寂仁本山寺住職がご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

安全作業に心がけ、ヒヤリハット事例の共有化を図り、安全研修も毎年度実施しています。楽しく安全作業で森林保全に取り組み、コロナに負けないよう汗を流した。



<活動実績>

2021 年度 活動参加者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
回数	3	0	1	3	1	0	4
人数	11+5	0	8	31+2	8	0	35+1
	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年合計	
回数	3	4	3	3	3	27	
人数	27+1	42+2	35+1	24	27+1	248+12	

人数の+以下数は体験参加人数

2022 年度 活動参加者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
回数	2	3	2	3	2	2	3
人数	24+1	31+2	33+1	35+2	19	22	32+1
	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年合計	
回数	3	3	3	2	3	31	
人数	32+2	36+3	36	21	25	346+12	

人数の+以下数は体験参加人数

(文責：斧田一陽)

<写真で振り返る 2021・22年度ーその1>

コロナ禍(マスク姿の集合写真)



さとり事務局の安全指導



安全研修(於 可笑院)



中学1年の助っ人(右端)



枯損木を退治!!「ドヤ顔」



昼食風景



溪流の保全



物置の備品チェック



<振り返る 2021・22 年度—その 2 >

近年珍しい雪景色



一年の安全を祈願



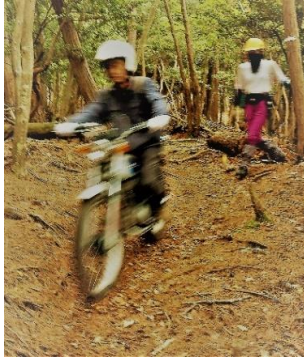
新兵器登場(会員の高枝切りチェーンソー)



新兵器(コンプレッサーと鳶口など)



事件① 突然のバイク闖入



事件② 台風の後始末(重機による倒木処理)



新しい年へ(護摩焚きの準備)



住職代替わり 百濟寂仁師から多門師へ



(文責：武田壽夫)

会員の声

石田 美和

山仲間の紹介で10月に体験参加、その後11月より会員として参加させて頂いています石田です。

山の整備には普段は山岳会で、山の中で活動させてもらっていることもあり、ぜひ参加させて頂きたいと思っていました。森林づくりの会には女性会員も多く活動されており、和気あいあいと楽しく参加させて頂いています。



現在チェーンソーの資格も取り、少しずつ勉強しながら活動させて頂いています。今後も色々な経験と実績を積んで成長していきたいと思います。

菊山 美紀子

神戸市在住 菊山美紀子です。11月から参加させて頂いています。

長いお付き合いの河野さんから、前に森作りに行っているのよ！と聞いた事があるのですが、その時には「貴方は色々いそがしいね！！」と話が終わっていました。

でもなぜか去年！森作りに来ない・・・楽しいよ！とお誘いを受け、その時の私の返事は・・・「おばちゃんが行っても役に立たないよ」と返事したのですが、「枝の整理など出来る事たくさんあるよ」の言葉で一度参加する事になり今に至ります。私を紹介した後3ヶ月以上河野さんは来ず・・・良い意味で河野さんらしいとビックリですが！！

丁度参加して6ヶ月になります。楽しく作業させて頂いています。

時々六甲の鍋蓋山で道を整備している男性と話したりしていましたが、色々な場所で森作りの様な会が有るのだとわかりました。

今まで何時間も遊び以外体力を使う事はありませんでしたが・・・作業している自分に「頑張っているな！」と思いながら楽しんでます。夜はぐっすり眠る事ができ、皆さんとの会話も刺激になっています。

いつまで元気で参加出来るか分かりませんが、皆さんと木々のパワーを頂きながら一日楽しく作業したいと思います。皆さん宜しくお願いします。

寺田 昭弘

昨年の9月より会員として活動させて頂いています寺田です。現在56歳ですが本山寺山森林づくりの会においては若手となっております(^_^;)。

入会させて頂いたきっかけは、昨年4月に山関係の繋がりで行って日本山岳会関西支部に入会する事になり、関西支部のHPを覗いてみると当会の案内があり、以前箕面の山整備を手伝わせて頂いた時に話に聞いたことがあったので、一度見学させて頂こうと6月に体験参加をさせて頂きました。



初めて参加した感想は、比較的高齢の方が多く皆さんが元気に楽しく活動されているだ

けではなく、山整備に関しての知識もしっかりしており、ぜひこちらで一緒に学ばせて頂けたらと思入会させて頂く事にしました。

ただ、なかなか参加予定していた日が天候に恵まれず会員としての初参加は9月に入ってからとなりました。

当山 清之

昨年(2022)7月から体験作業を経て毎月作業を手伝ってはや半年余りの経験を積んで来ました。まだまだ未熟ながら少しずつですが山の整備作業を楽しんで身に付けている実感(満足)を感じています。

山歩きを約40余年がたち、当たりまえに整備された道を歩くことが普通だと認識していました。大阪北部地震と台風後の荒れた山道を見て愕然としました。一人で山道を歩く道すがら各地のボランティアの道の修復作業に心を撃たれました。

いつかは私も目に見えない形で参加できるボランティア活動をポンポン山で知り合ったNさんの紹介で参加させていただき感謝しています。毎月数回、関西を中心にして山歩きを楽しんでいる私に少しでも役立つ作業を通して恩返しが出来ればと思っています。山歩きとボランティアをこれからも続けて行きます。

最後になりました。高槻市内の当山と申します。来年は後期高齢です。宜しくお願いいたします。

中川 義行

木々の下での昼弁当は旨い！ とにかく旨いの一言につきる。山登りの頂上での弁当も確かに旨い。がそれにも増して作業を終えた時の弁当は旨い。この様な旨い弁当を食べられるのも本会に入会させて頂いた御陰と思っています。生まれも育ちも高槻市川久保という山の中。産湯は水無瀬川の清流（これホント、当時は水道も井戸も無かった）。

この様な山の中を走り回っていた坊やが今ではシニアと呼ばれる年齢に早くも達してしまいました。山を歩いたり走ったり（今は走るのは止めた）するのが好きで、ポンポン山は裏庭を散歩するという感覚で、いつも歩いていました。ある日、本山寺近くでヘルメットを被り薙刀のような物を持っておられる方（後で武田様と知る）に遭遇しました。お話を伺うと国有林の整備をなさっているという。今まで山林の整備などしたことがなく荒れた自分の山林も整備しないで他人（国有林）の山林の整備をするというのも違和感がありました。しかし、ポンポン山へは度々歩いており、森林整備に特に興味があるというのではなく、体を動かすことが好きで、ただ山へ行ったついでに微力ながらも作業のお手伝いをさせて頂き皆様のお役にたてればと思立った次第です（不純な動機で申し訳ありません）。

実際入会させて頂くと、今まで知らなくて木を切っていましたが、切り方や倒し方また安全上の注意事項など親切にご指導頂き感謝しています。これからも体が許す限り参加させていただきたいと思しますので宜しくお願い致します。



春名 浩一

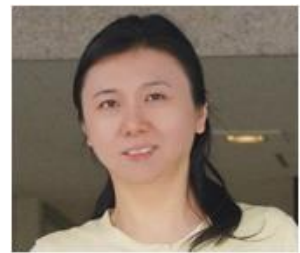
私は春名浩一令和5年現在満68歳。令和3年3月から立直の人工林の除伐や口径10~15cmまでの広葉樹の伐倒と枝処理の活動をしていました。

本山時周辺で台風被害倒木の処理をしているグループがあると聞き、台風被害倒木の処理技術を獲得したいと思ったのが入会の動機です。昨年11月から岡山県真庭市の亡母の実家の山で森林作業の手伝いをしています。山主の責任は水源確保の植生を維持することだとの叔父の話がまずあり、伐採に関しても水理管理組合のおぼちゃんの注文があります。また、重要なことが伐木の搬出路「クローラ（超小型キャタピラー車）」が通れる路の開設と保守、そして作業場への進入路作り、さらに古い進入路の復活再生でした。

本山寺森林づくりの会が主テーマとしている道づくりが、岡山の県北山間社会でも重要視されていることを知りました。

兪 靖涵（ゆ せいかん）

私は中国・上海出身で高校卒業後に留学で日本にきました。日本語学校を経て大学に進学し、卒業後は日本と中国を行き来しながら仕事を続けてきました。生活の拠点はそれぞれ上海と大阪に置いた時期がありますが、7年前から大阪での生活が中心になりました。そして母校大阪市立大学の同窓会活動に手伝うようになり、先輩の黒山さんと知り合い、森林を整備する活動も知るようになりました。



プライベートでは山に登ったりもしていますが、いつも整備された山道を歩くだけで、森を整備する側の視点を全く持っていませんでした。森の整備作業がどんなことをどういう風に行われ、進められているのかに関心を持ち、整備活動の体験を申し込みました。そして皆様の活動を横で見るだけと思ったところ、鋸で木の「枝払い」の実戦から踏み込みました。不慣れのところもあり、翌日に腕の筋肉痛と足爪の内出血が印象深く残りました。

整備活動を通じて今までと違う視点で森林を見る、感じることができ、またメンバーの皆様から木や花のことも教えてもらい、いつも心身のリフレッシュができます。2022年4月の初参加から早くも1年が経ちました。夏の虫にも、冬の寒さにも弱いですが、気持ち良い汗をかけ続けられたらと思います。

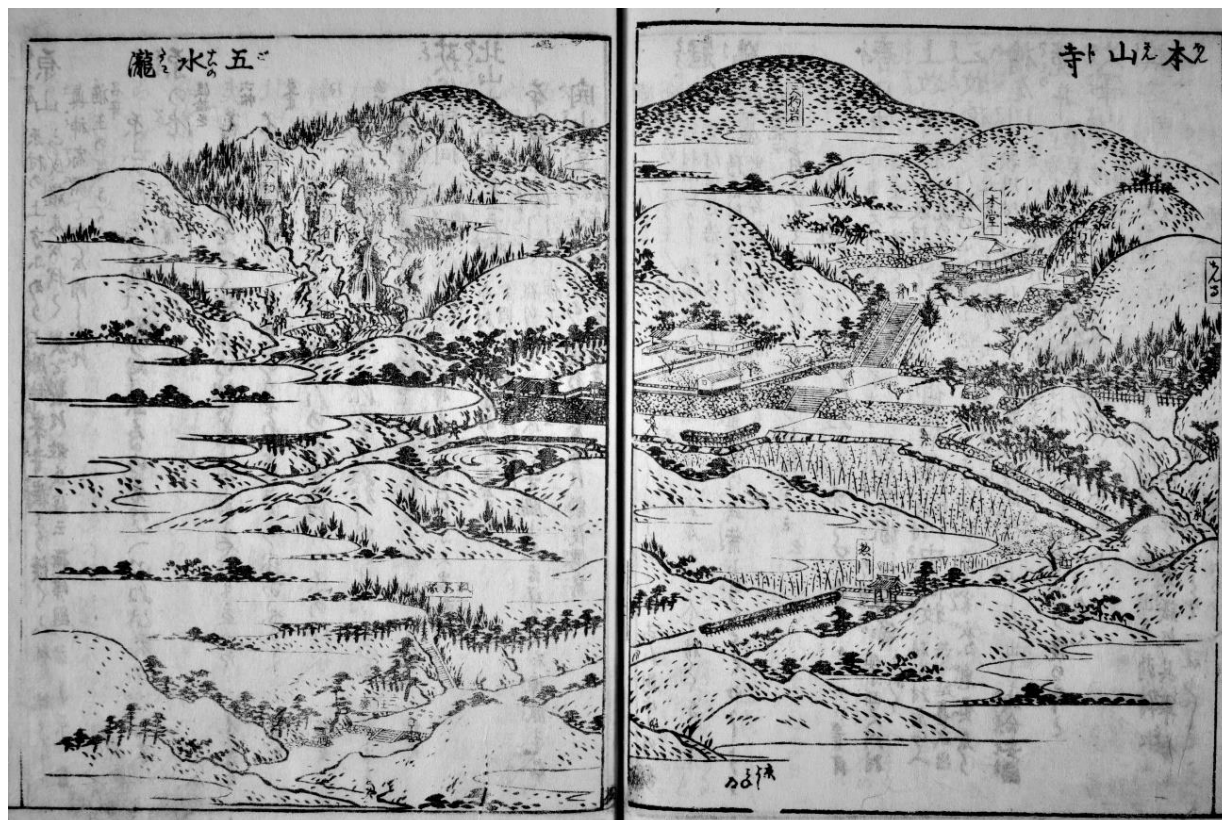
皆様、今後ともよろしく願いいたします。



特別寄稿「昔むかしの本山寺」(文、写真 武田壽夫)

活動日毎にお世話になる本山寺、由緒は高槻市のホームページに詳しいが、昔の姿はどうだったのか。撰津名所圖會をひも解き、また、古い丁石の名残を訪ねて見た。まず古記録から。
(「圖會」は尼崎市立歴史博物館 あまがさきアーカイブス蔵)

1. 描かれた本山寺(撰津名所圖會五卷)



「圖會」は大正8年刊、原画は寛政8～10年(1796～98)とか。登山者用トイレ、可笑院、新しい護摩堂は描かれていないが、石段・石垣は日頃目にする通り。画面左下から道に従って右上へ歩き出してみよう。

先ず、左下に数段の石段、これは一丁石のある勧請架けの場所か。続く総門をくぐって石垣の下を左に辿り石段を上がると左に庫裏、右方には鐘楼。奥に「鎮守」らしき小さなお堂。さらに登れば本堂で右端には小さく行者堂、圖會本文には「**役行者僊窟**」とある。

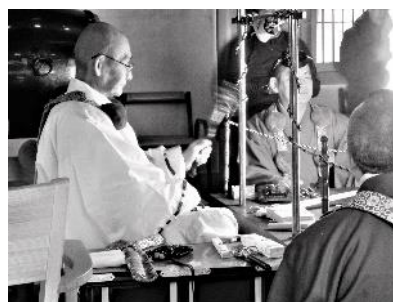
注目は、先ず右端に小さく描かれたお堂(鎮守様?)。今は無く、可笑院の裏手にその跡らしい平地が草に埋もれているだけ。今では、総門を進んで東側の高みに「三社権現」と「福塚明神」の二つの社がある。どなたを祀るのか、祭神はいずれも不明。これらが「鎮守」の後の姿かも知れぬ。以前、ここで笛を献ずる若い修験者に会ったことがあり、響きは如何にも修験の山の趣きだった。

次に、奥の峰の「天狗岩」の文字。本文では「**当山の絶頂にあり**」とされていて、「岩」は不詳だが、これが山頂付近の天狗杉の名称の由来か?。左には「五水瀧」、「**本堂の後五丁計にあり長サ五丈計り**」。役行者が瀧行中、「**瀧水五色に見えたりにより名とされ**…」浴すると病は癒えると続く。今に大事に守られている。



←勸請がけ
(一丁石がある)

前住職
故 百濟寂仁師→
(於 護摩堂)



2. 川久保からの丁石

東の谷間、川久保から本山寺への丁石が残っていると聞いたことがあり、同地在住の中川会員に尋ねた処、早速、踏査地図を寄せて下さった。下図は川久保から今の自然歩道までの部分。

<p>登り口の鳥居</p>		<p>本道の十九丁石</p>
<p>鳥居下の二十丁石</p>		<p>廃道の十七丁石</p>

始まりは高槻市バス「川久保停留所」。毘沙門天の扁額を掲げた鳥居(写真左上)が入り口を教える。足下には最初の二十丁石(写真左下)。教育委員会の説明板には「本山寺の本尊、毘沙門天は商売繁盛や勝負事にご利益ありとされ、江戸時代には大坂からの参詣客で賑わった。二十丁石は大正三年(1914)に勸請掛前の一丁石まで20基建立されたものの一つ。

多くは大阪市民の寄贈だが、十九丁石(写真右上)は現高槻市真上、一丁石は多度津(香川県)の住民による」とある。道は途中で諏訪神社への道と「十七丁石」から「十三丁石」へと登る廃道が分岐していて、「十三」(下の写真左)まで進むと現在の自然歩道に出る。

では今の自然歩道は何時整備されたのか? 「八丁石」駐車場傍の参道完成記念碑(下の写真中央)には「昭和44年夏 55世寂詮」(写真下中央)とあり、これが一つの手掛かりだろう。最後に、「五丁石」まで進むと「行者衣掛けの松」を語る祠が守られている。乞 一見。

<p>廃道の十三丁石</p>	<p>参道完成記念碑</p>	<p>祠 行者衣掛けの松</p>
----------------	----------------	------------------

2023年度活動予定表

4月	6日(木)	16日(日)	27日(木)臨時	
5月	4日(木・祝)	11日(木)臨時	21日(日)	
6月	1日(木)	11日(日)臨時	18日(日)	
7月	6日(木)	16日(日)	23日(日)臨時	
8月	3日(木)	20日(日)	31日(木)臨時	
9月	7日(木)	17日(日)	28日(木)臨時	
10月	5日(木)	15日(日)	22日(日)臨時	
11月	2日(木)	9日(木)臨時	19日(日)	30日(木)臨時
12月	7日(木)	17日(日)	21日(木)臨時	
1月	3日(水)	11日(木)臨時	21日(日)	
2月	1日(木)	11日(日)臨時	18日(日)	
3月	7日(木)	17日(日)		

注：8月以降の臨時活動日は変更の可能性あり

集合 JR高槻駅北側 アルプラザ前 8時40分 8時50分出発
作業物置場 9時30分

解散(予定) 15時30分

作業準備 9時30分～10時

活動時間 10時～15時 移動30分～60分含む

休憩 午前15分 昼休み30分 午後15分

片付 15時～15時30分

中止の周知 警報発令時、緊急事態発生時、移動不可能日 雨天、雪、冷温時
中止予定は前日の夕方までに連絡網にて連絡しますが、連絡ない場合のもれなど、確認が必要な場合は上記問合せ先をお願いします。

問い合わせ

072-633-6556(Tel & Fax) 090-4037-4542(斧田)
090-2042-9101(武田)

編集後記

あかがし第6号をお届けします。コロナ感染症も少し落ち着いてきたようですし、新規参加者も増加してきたので、「出来るときに、出来ることを、無理なく安全に」をモットーに、皆さん楽しく、いい汗を流しましょう。(文責：黒山泰弘)

本山寺山森林づくりの会会報「あかがし」第6号

発行日：2023年6月
 発行者：本山寺山森林づくりの会
 発行所：〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22 梅田ビル3階304号
 公益社団法人 日本山岳会関西支部内
 編集委員会：斧田一陽 武田壽夫 黒山泰弘
 表紙作成：山國
 事務局連絡先：斧田一陽方 072-633-6556 FAX 072-633-6556
 武田壽夫方 090-2042-9101
 E-mail：enn-no-odunu@ares.eonet.ne.jp
 ホームページ：「本山寺山森林づくりの会」と入力
<http://lopchin.e2.valueserver.jp/jack-forestation2017.html>